

近世史料館開館20周年記念企画展

加賀藩の建築



はじめに

現在、近世史料館では二・三万点以上の歴史資料を収蔵していますが、そのなかには加賀藩大工方を勤めた清水家の史料群である清水文庫、宮大工であった工藤家文書など、加賀藩および加賀前田家に関係する建築・設計の図面や景観図、写真などが多く残されています。

今回、近世史料館開館二〇周年を記念し、企画展「加賀藩の建築」を開催いたします。本企画展では、城絵図や屋敷敷図、御居間からの遠望図のような金沢城に関係する絵図面のほか、天徳院や瑞龍寺といった前田家ゆかりの寺院、尾山神社など近代の建築物の図面などを展示・紹介します。

本企画展を開催するにあたり、ご協力いただいた皆さまに心より御礼を申し上げます。

令和元年七月

金沢市立玉川図書館
近世史料館

(表紙)

- ・北陸名所図会 金沢城雪の景 (090-1099 ①)
- ・北陸名所図会 尾山神社神門の景 (090-1099 ③)
- ・北陸名所図会 井波瑞泉寺山門の景 (090-1099 ⑫)
- ・愛本橋絵図 完成図 (四十分一絵図) (18.6-72 ②)
- ・北陸名所図会 城南大乘寺門前の図 (090-1099 ⑥)
- ・北陸名所図会 東廓夜の景 (090-1099 ⑤)

(裏表紙)

- ・金沢城門等写真 鼠多門と鼠多門橋 (k5-68 ②)
- ・金沢城門等写真 五十間長屋 (k5-68 ⑩)
- ・金沢城門等写真 石川門と百間堀 (k5-68 ⑥)
- ・愛本橋絵図 完成図 (四十分一絵図) (18.6-72 ②)

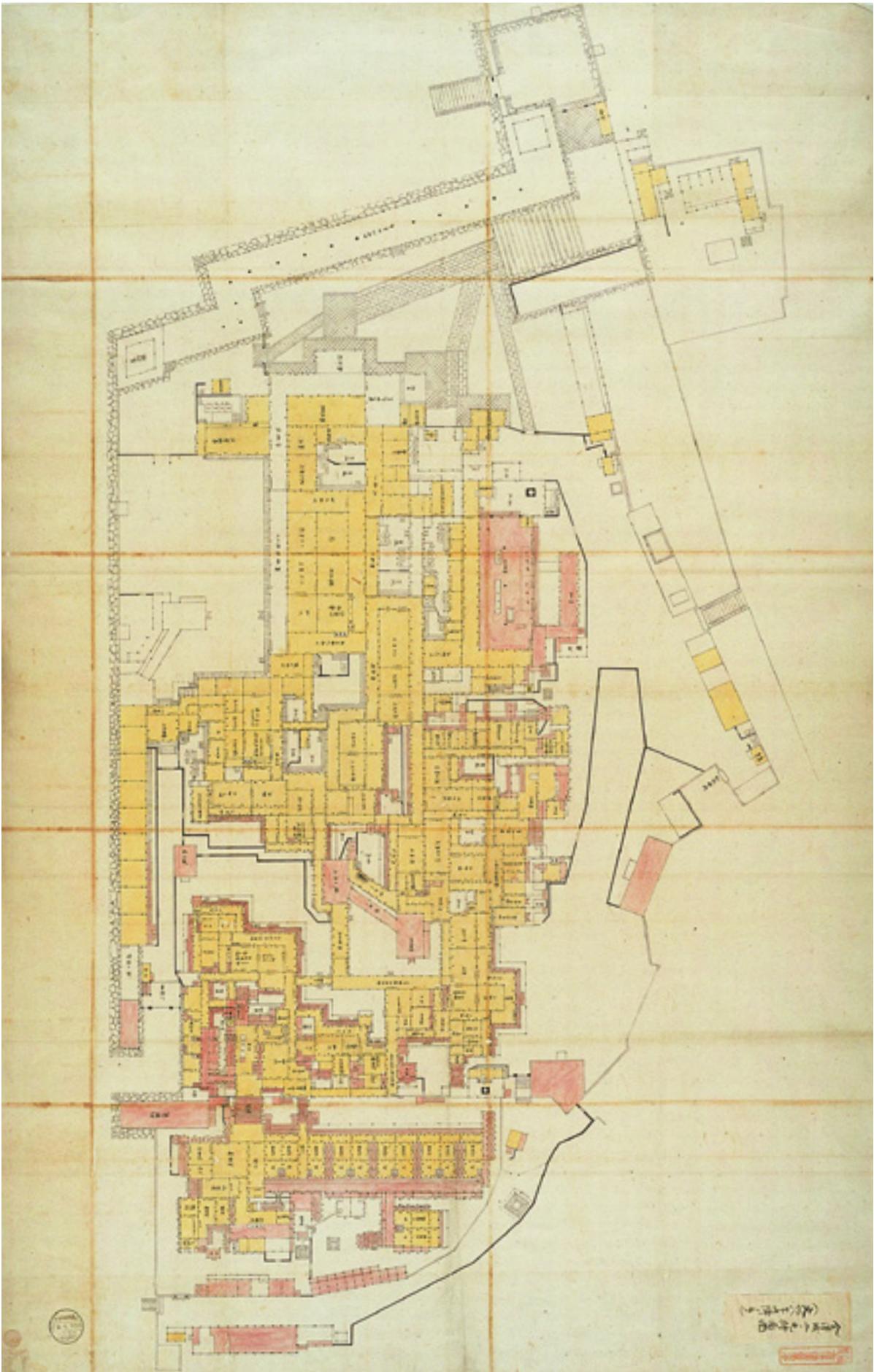
凡例

- 本図録は、金沢市立玉川図書館近世史料館が開催する開館二〇周年記念企画展「加賀藩の建築」に合わせて作成したものです。
- 会期中に展示替えの可能性があり、一部の資料は展示されないことがあります。
- 本図録に掲載されている写真および記事の転載については、当館の許可が必要です。

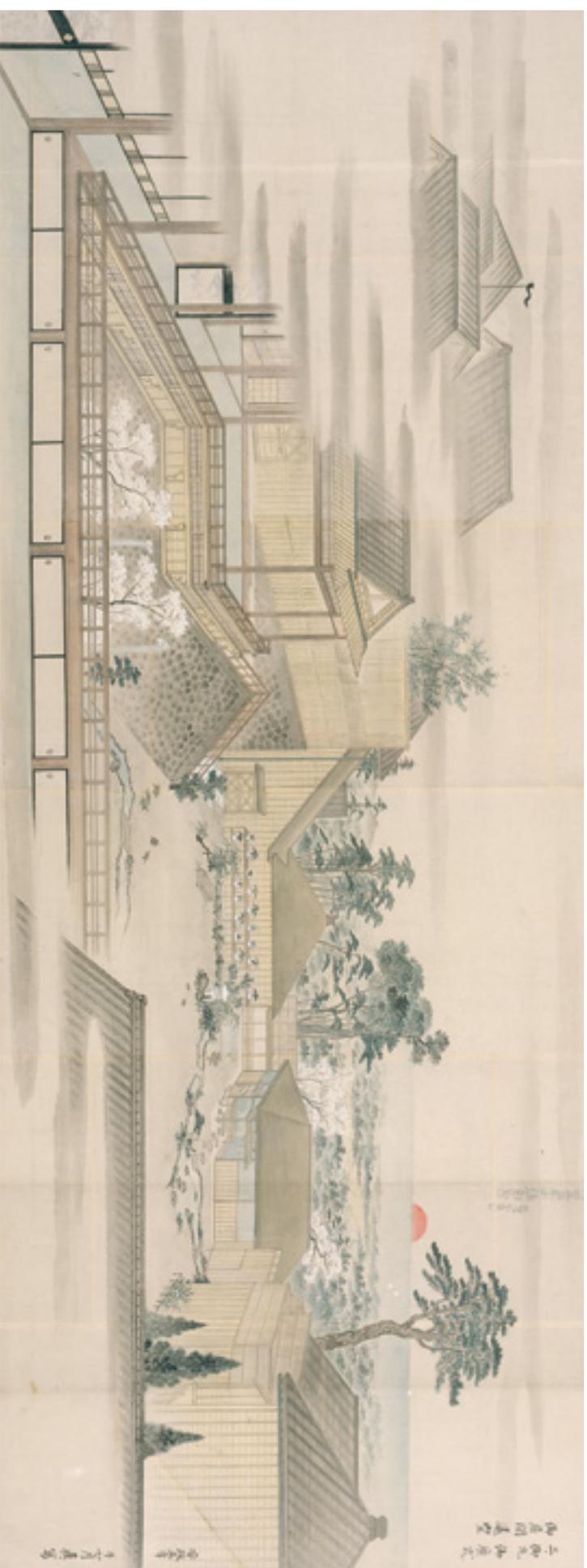


金沢城絵図 (090-1536)

近世後期の金沢城内の建物配置を描いた作事所系の藩用図の写であると推定される。蓮池庭（後の兼六園）の景観を詳しく描いているのが特徴である。本図の二ノ丸御殿には能舞台が二か所描かれていることから、再建された文化7年以降の姿であることがわかり、また「鼠多御門」という名称が示されている点から、文化13年以前と考えられる。



金沢城二ノ丸絵図面 (090-776)



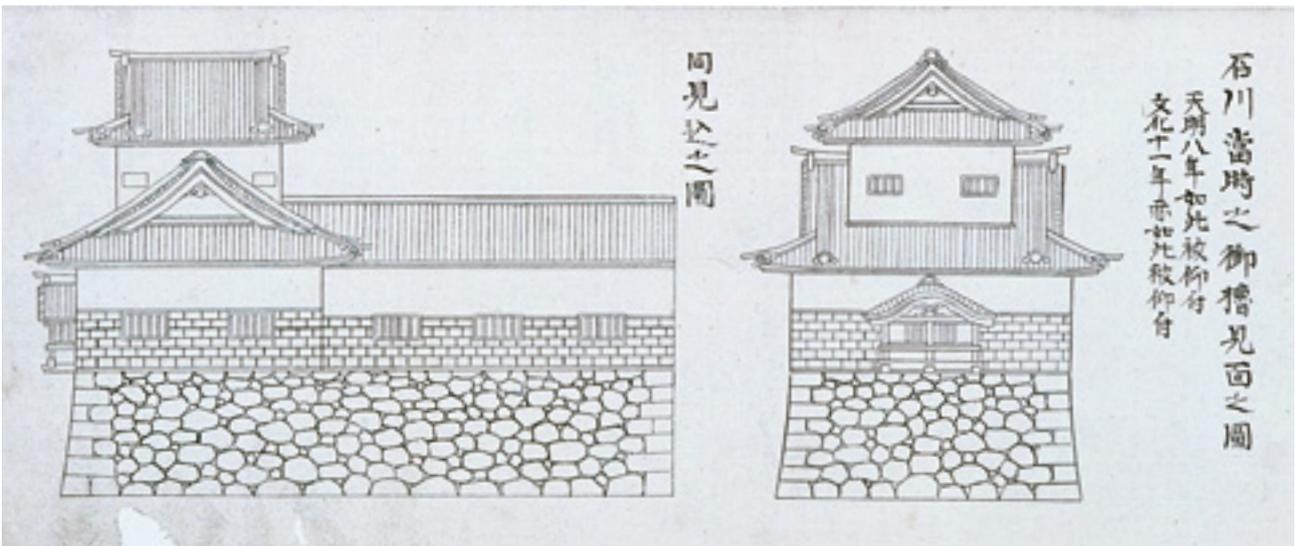
二ノ丸御広式御居間遠望図 (24.2-4)

加賀藩御抱絵師佐々木泉景の子である佐々木泉玄によって安政5年(1858)に描かれた図。本図は二ノ丸御広式御居間から遠望したものであり、図中の庭園には盆栽、噴水、小亀の遊ぶ様子が描かれているほか、御殿越しに宮腰方面の夕日を望む構図になっている。この二ノ丸御殿は文化6年(1809)の大火後に再建されたものであり、明治2年(1869)前田家が本多家上屋敷に住居を移すと、同4年の廃藩置県後には兵舎として利用され、同14年の火災により焼失した。金沢市指定文化財。



二ノ御丸御好屋口より専光寺浜眺望図 (24.2-5)

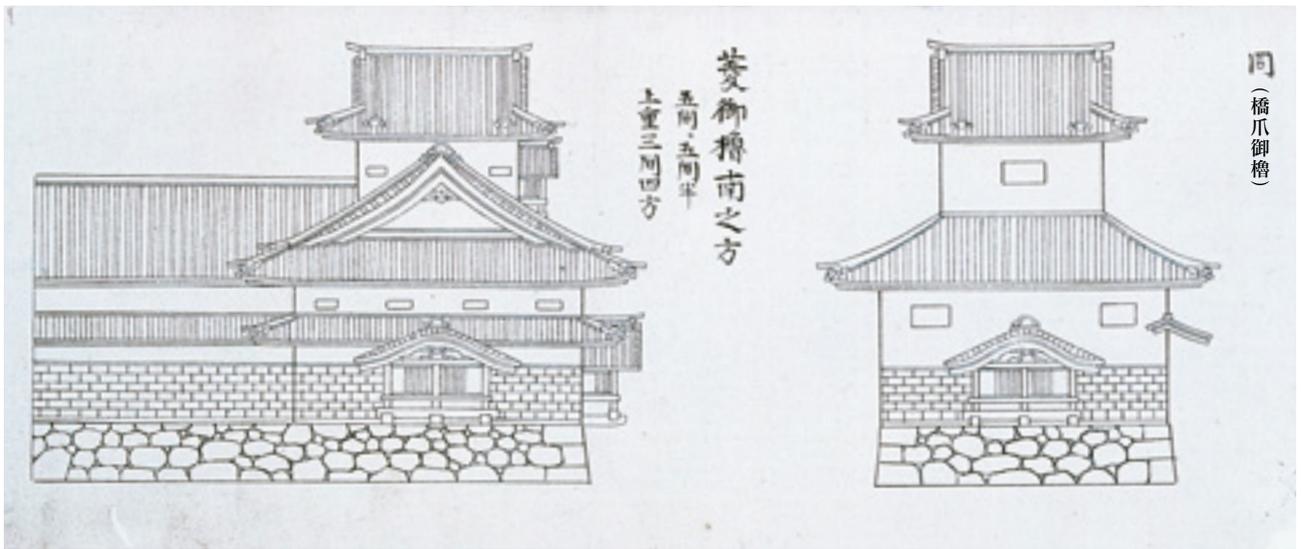
金沢市指定文化財



御城中総御櫓并御門絵図
石川御櫓 (090-813)



金沢城門等写真
石川門 (k5-68 ①)

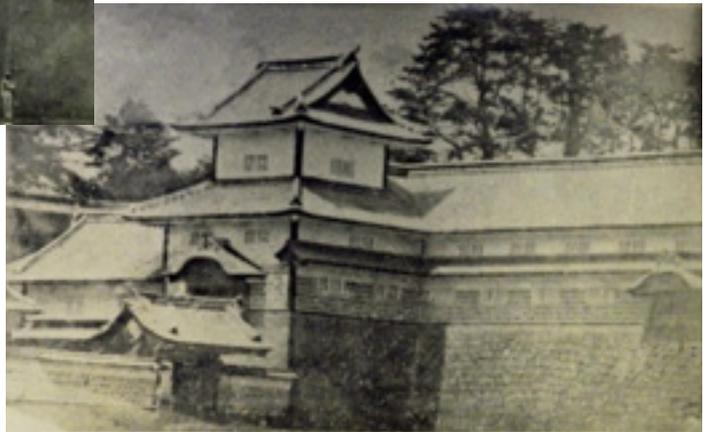


御城中総御櫓并御門絵図 菱御櫓 (090-813)



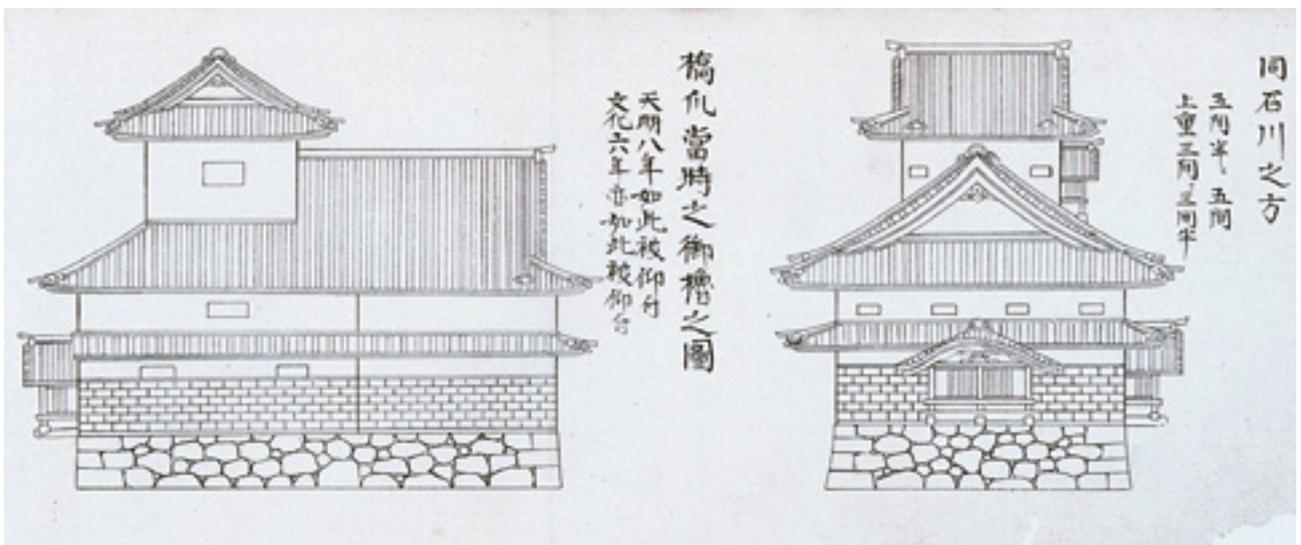
金沢城門等写真

二の丸の東北隅にあった菱櫓 (13.0-87 ③)

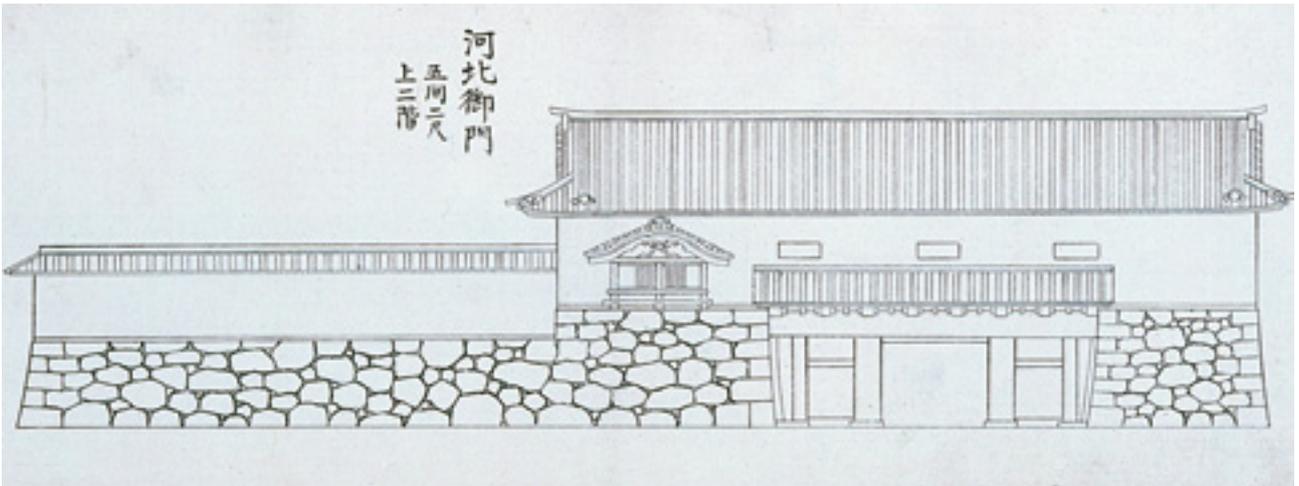


金沢城門等写真

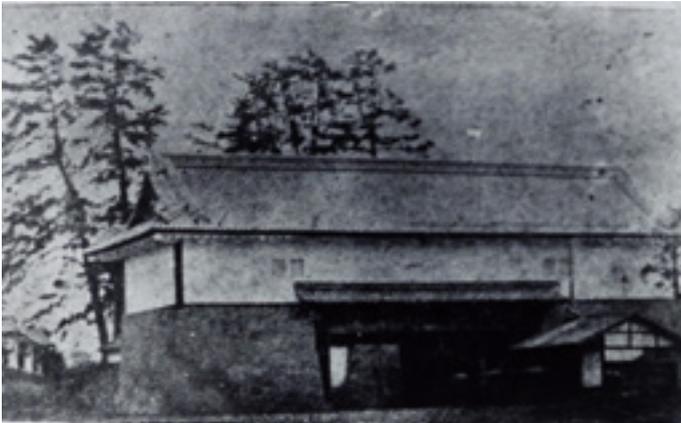
橋爪門の櫓と石垣 (13.0-87 ②)



御城中総御櫓并御門絵図 橋爪御櫓 (090-813)



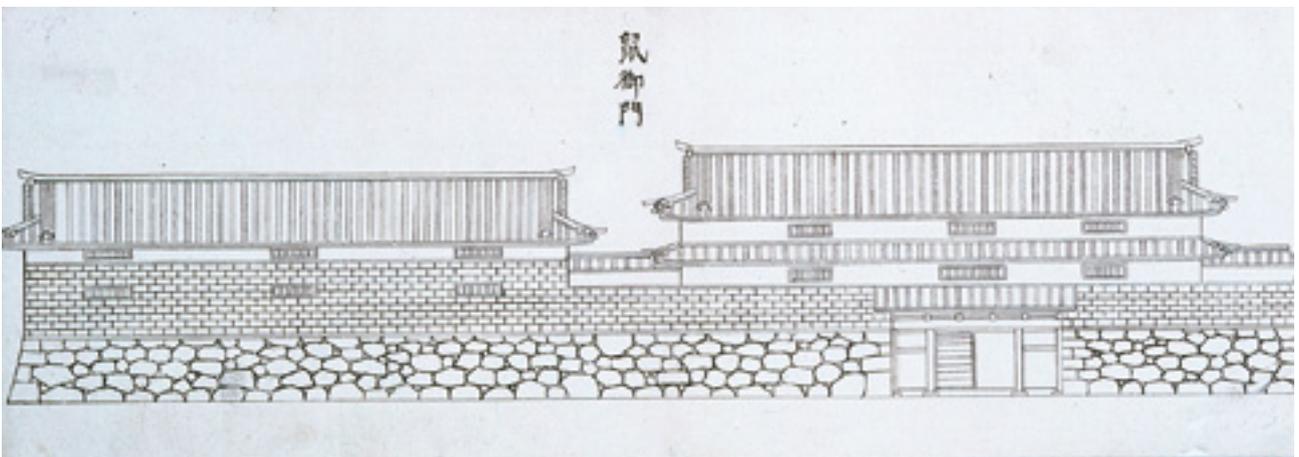
御城中総御櫓并御門絵図 河北御門 (090-813)



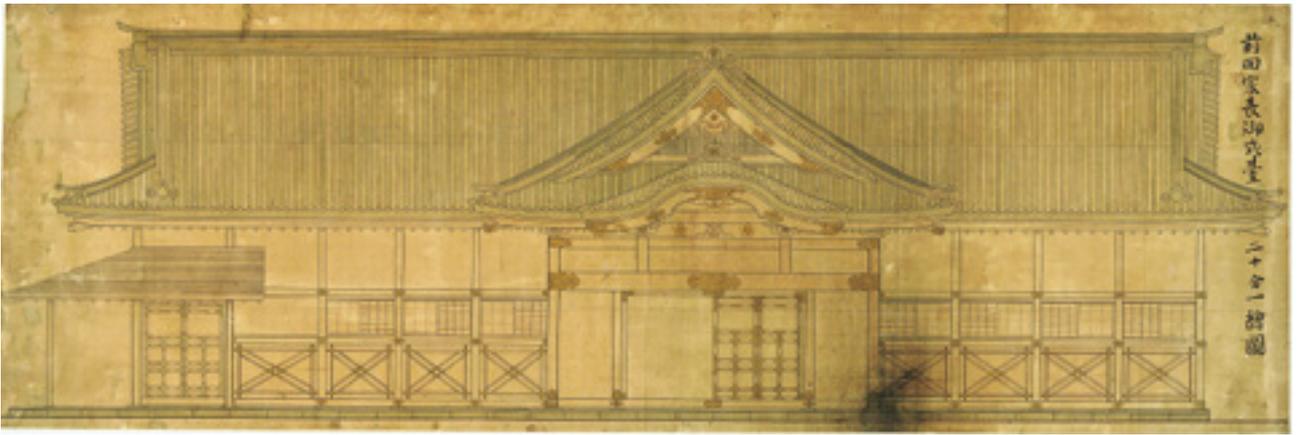
金沢城門等写真
河北門 (k5-68 ⑧)



金沢城門等写真
鼠多門 (13.0-87 ①)



御城中総御櫓并御門絵図 鼠御門 (090-813)



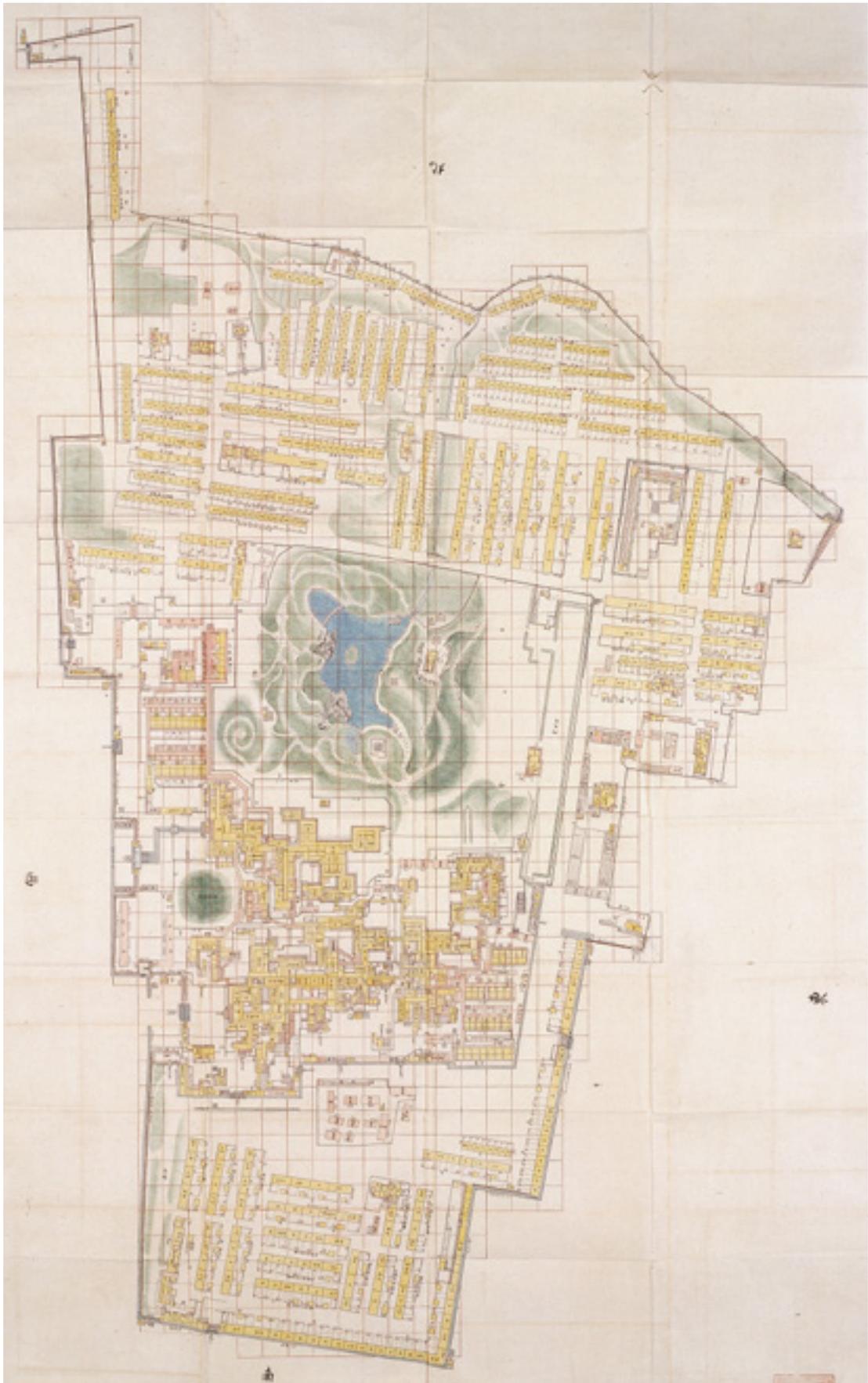
金沢城二之丸御式台絵図 (16.16-34)

金沢城二ノ丸御殿の「表向」の式台を描いた図。両開きの「唐戸」、梅鉢紋が入った金具や障子などが描かれている。明治初年の二ノ丸御殿平面図と合致する箇所があることから、近世後期のものと推定される。



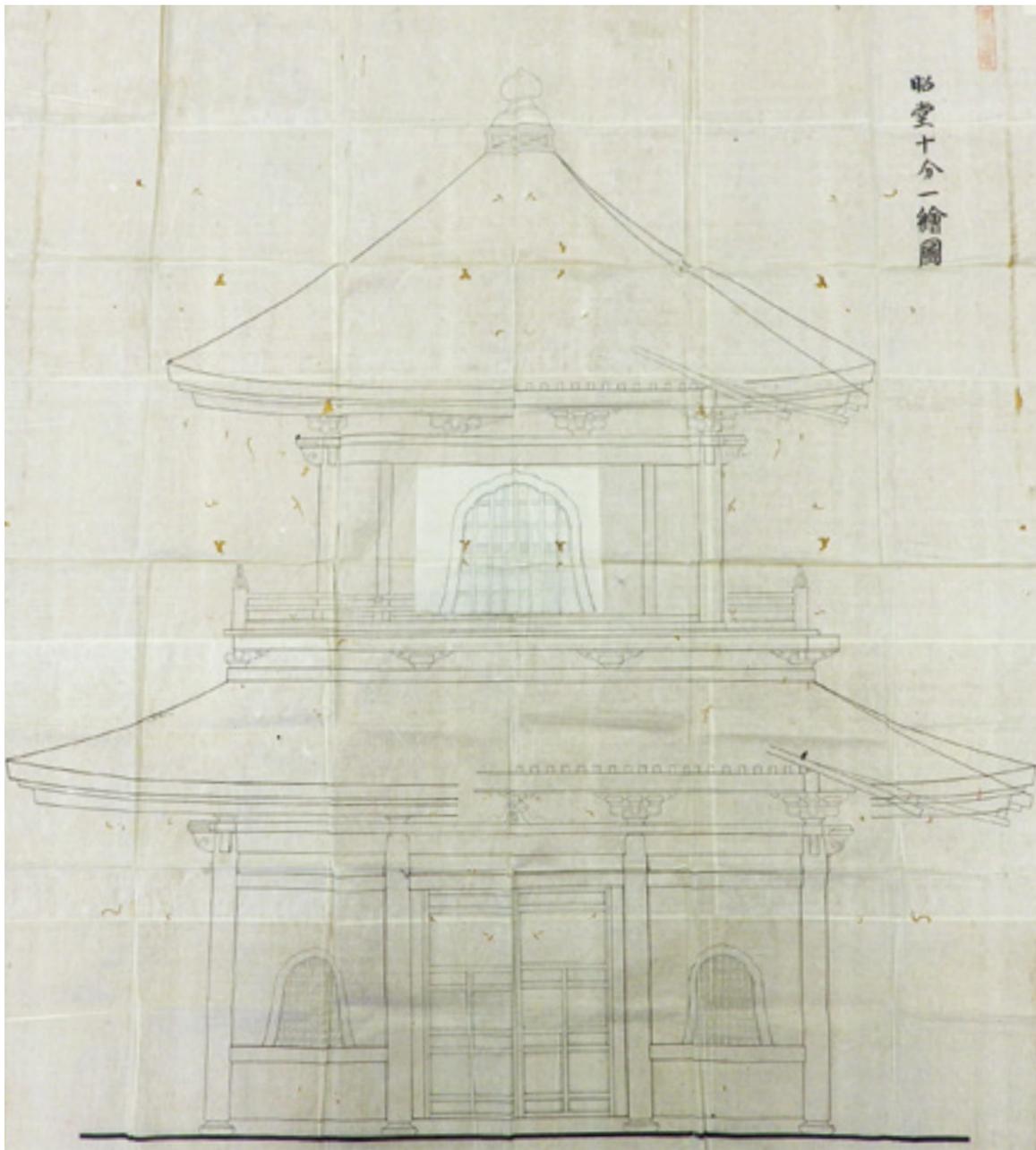
御造営方日並記 (16.45-14)

「御造営方日並記」は全15冊で、造営方奉行であった高島厚定（五郎兵衛）によって文化6年（1809）正月から翌7年6月までの一年半にわたる業務が記されている。内容は多岐にわたり、この造営に関わった人物をはじめ、御殿内部の内装や障壁画の意匠がどのような手続きを経て決定されたかなどが具体的に分かる。



江戸御上屋敷絵図（18.6-27 ①）

加賀藩江戸上屋敷の本郷邸を描いた図で、内容は天保後期ともいわれる。外囲いと内囲いによって二重に閉じられた空間構成をみせており、内側の空間には屋敷の中心となる御殿とそれに付随する庭園や馬場などが配置され（御殿空間）、御殿についても藩主や重臣らの応接・政務のための表御殿と、藩主とその家族、奥女中らの住居である奥御殿に区分される。一方、外側の空間には多数の長屋や藩の役所が配置されている（詰人空間）。



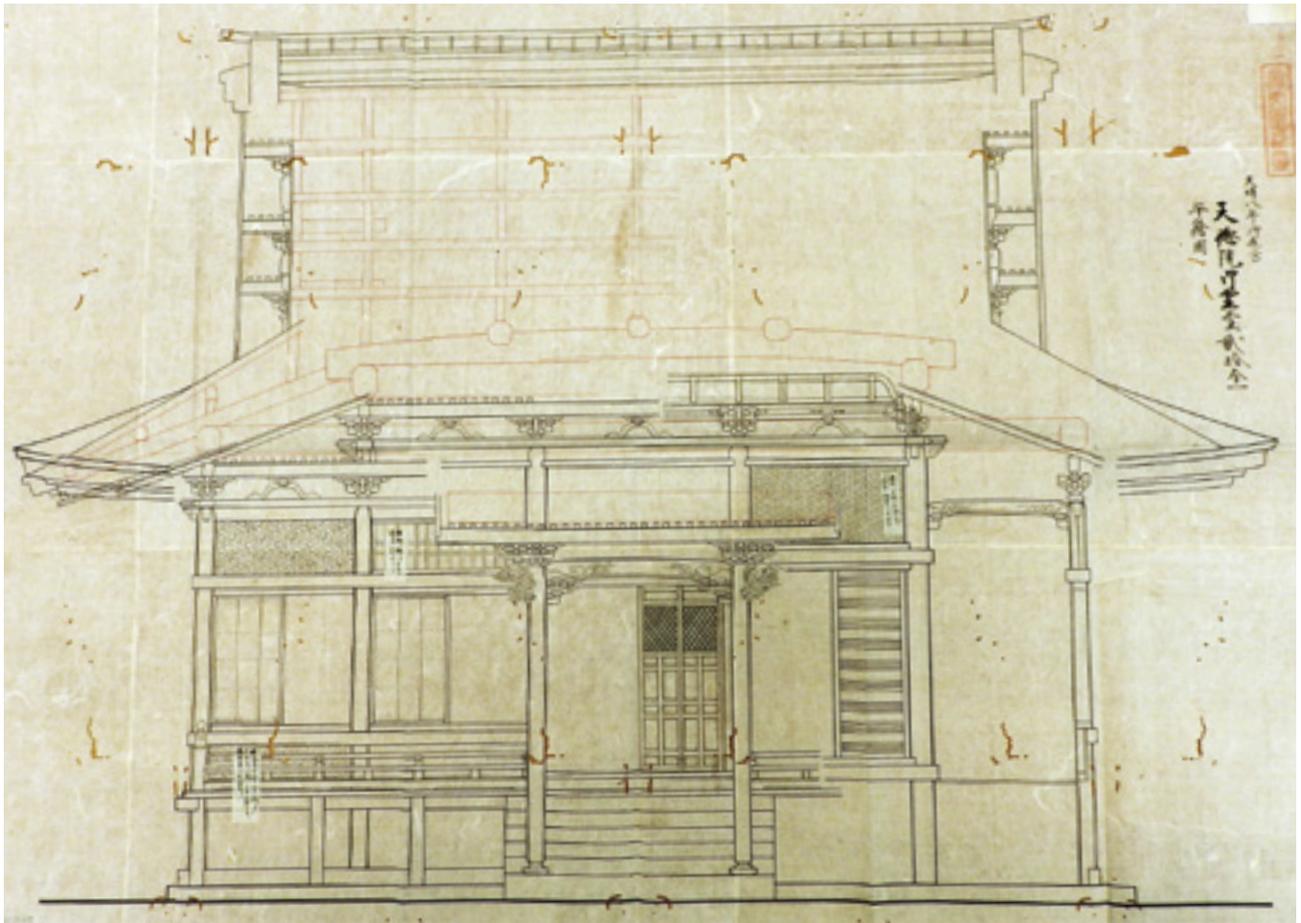
昭堂十分一繪圖

紫野芳春院昭堂十分一繪圖 (18.1-22)

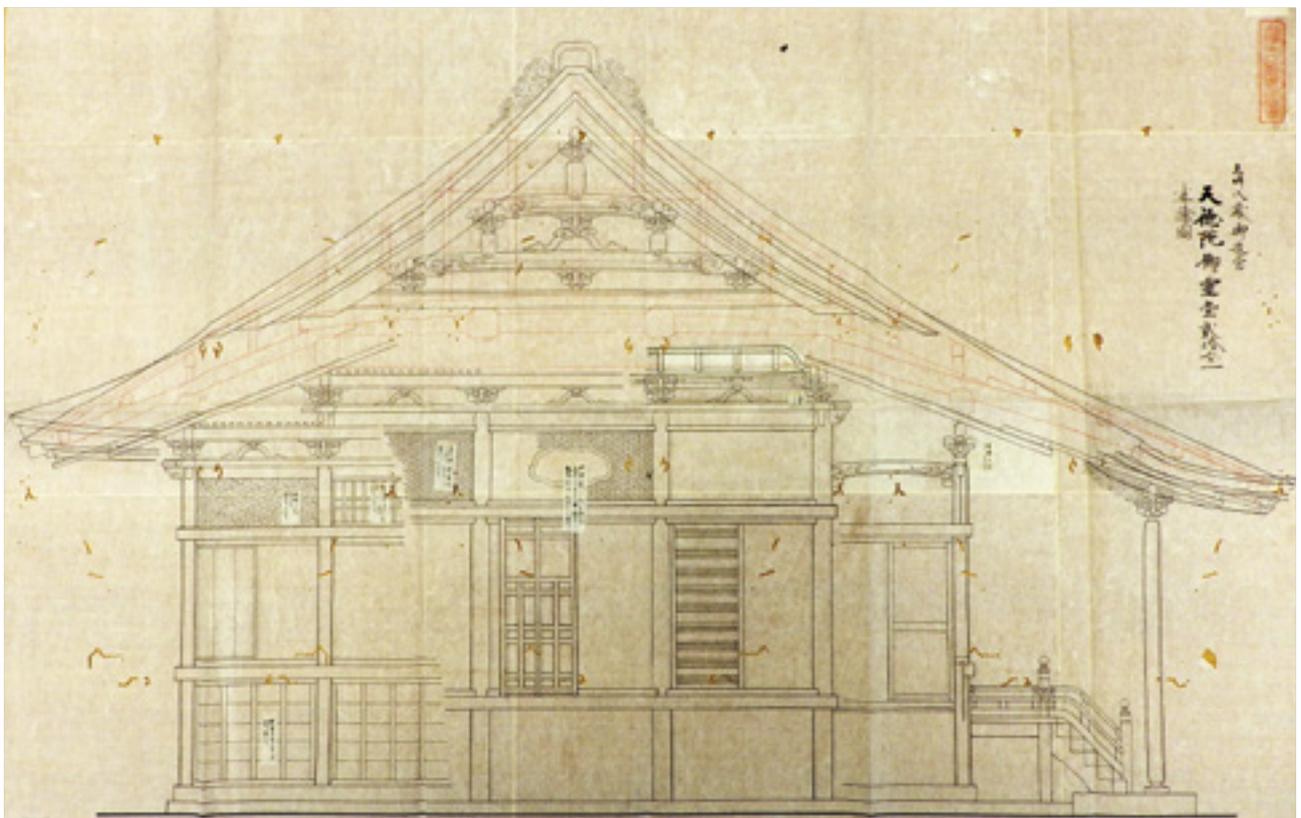
紫野芳春院縁起
 依託記録之由
 宗園の弟玉室宗珀を
 開祖として塔頭を
 建立した。この塔頭は、
 まつの院号をとって
 芳春院とされ、前田
 家の菩提寺となつた。
 芳春院昭堂は、開祖
 玉室宗珀の師である
 春屋宗園の木像や前
 田家歴代の位牌を祀
 ったとされ、二層の
 楼閣建築で現在の
 ものは文化期に再
 建されている。

紫野芳春院縁起 (16.61-190)

前田利家死去後、妻のまつは落飾して芳春院と号すが、まつは以前から京都紫野大徳寺の住持であつた春屋宗園の教えを受けていたことから、宗園の弟子玉室宗珀を開祖として塔頭を建立した。この塔頭は、まつの院号をとって芳春院とされ、前田家の菩提寺となつた。芳春院昭堂は、開祖玉室宗珀の師である春屋宗園の木像や前田家歴代の位牌を祀つたとされ、二層の楼閣建築で現在のものは文化期に再建されている。

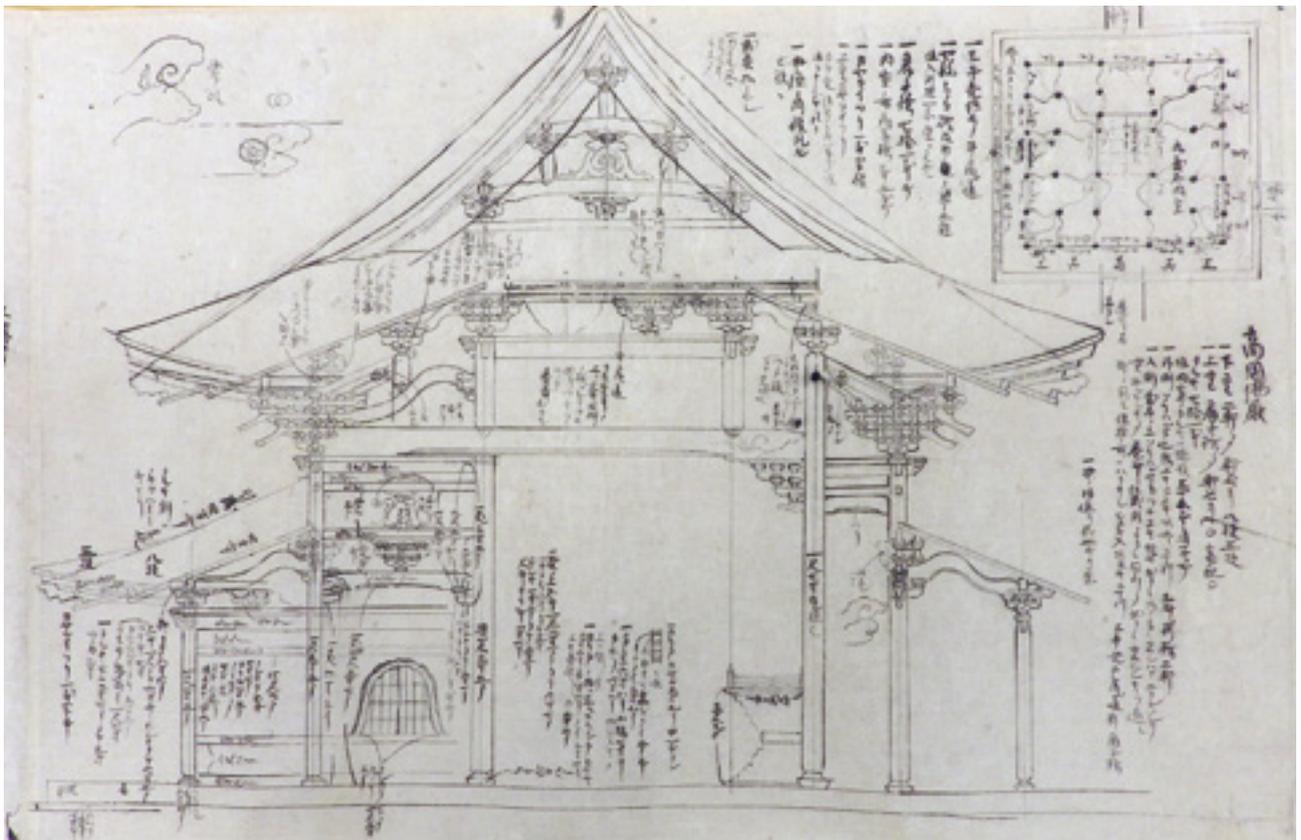


天徳院御霊堂式拾分一平絵図 (18.1-24 ①)



天徳院御霊堂式拾分一妻絵図 (18.1-24 ②)

元和9年(1623)、藩主前田利常は正室珠姫の菩提を弔うため、天徳院を創建した。開祖は安房国長安寺の巨山泉滴で、承応3年(1654)に寺領500石を拝領、寛文11年(1671)には珠姫の遺骨が野田山に移葬されている。歴代藩主としては、光高・綱紀・宗辰・重靖・斉広が天徳院を菩提寺としている。明和5年(1768)に山門などを残して多くを焼失したが、翌年再建された。



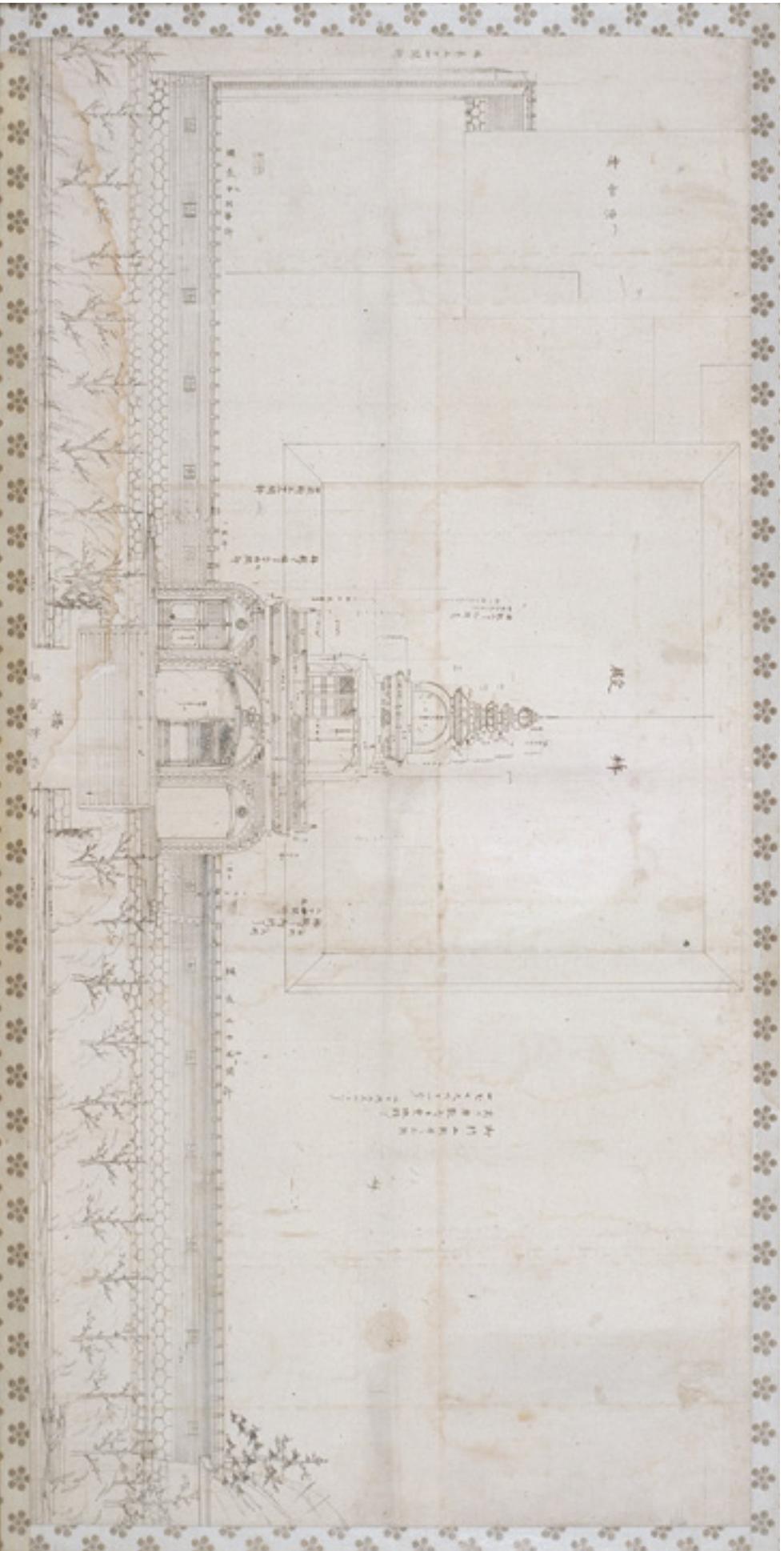
加賀藩社寺建築図 高岡仏殿 (18.6-73)

瑞龍寺は藩主前田利長の菩提寺として建立されたもので、仏殿、法堂、山門が国宝、総門などが重要文化財に指定されている。延享3年(1746)に山門と回廊の一部、禅堂などが焼失したが、その後再建されており、瑞龍寺は左右対称の明快な伽藍配置に特徴がある。本図は仏殿の側面図であるが、仏殿は山上善右衛門による傑作の一つとされる。



辰巳旧園新造客殿図 (24.2-6)

この客殿は、明治3年(1870)ドイツ人鉱山学所教師デッケンのために現在の兼六園内に建てられ、同5年の展覧会や同7年の博覧会などに使用されており、明治初年における洋風建造物を知る手がかりとなるものである。園中の林木の間に建てられた洋式風の御殿は流麗で、淡雅な色彩で仕上げられた情緒豊かな作品といえる。金沢市指定文化財。



尾山神社神門原図 (090-1117)

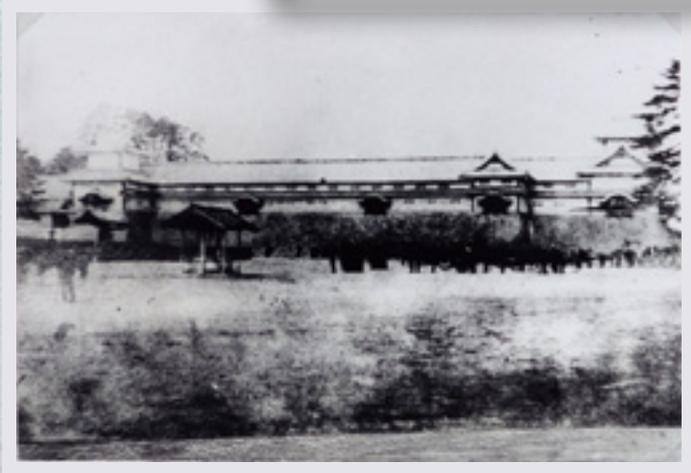
尾山神社は明治6年(1873)金沢城金谷御殿跡地に建立され、藩祖前田利家をはじめ歴代藩主を祀る。神門は、明治7年(1874)榎梁津田吉之助によって基本設計が完了、工事に着手して翌8年11月に完了した。三層の楼門からなり、高さ約18メートル、屋根の頂点を水煙で飾り、その上さらに8メートルの避雷針がある。神門は、昭和10年(1935)5月13日に国の重要文化財に指定されている。本図はあくまで原図であり、実際とは異なる。金沢市指定文化財。

主な出品史料

資 料 名	作 成 者 等	形 態	請求番号
金沢城絵図		一枚 (彩色) 75.5 × 93	090-1536
金沢城二ノ丸絵図面		一枚 (彩色) 136 × 87	090-776
二ノ御丸御広式御居間遠望図	佐々木泉玄筆	額装 (彩色) 60 × 157	24.2-4
二ノ御丸御好屋口より専光寺浜眺望図	佐々木泉玄筆	額装 (彩色) 35 × 62	24.2-5
御城中総御櫓并御門絵図		長帳	090-813
金沢城門等写真		写真	13.0-87
金沢城門等写真		写真	k5-68
金沢城二之丸御式台絵図		一枚 (彩色) 70 × 201.5	16.18-34
御造営方日並記	高島厚定 (五郎兵衛) 著	横帳	16.45-14
江戸御上屋敷絵図		一枚	18.6-27 ①
紫野芳春院昭堂十分一絵図		一枚	18.1-22
紫野芳春院縁起	芳春院宥峰編	卷子	16.61-190
天徳院御霊堂絵図 二十分一平絵図		一枚 (朱入) 58 × 81	18.1-24 ①
天徳院御霊堂絵図 二十分一妻絵図		一枚 (朱入) 58 × 88	18.1-24 ②
加賀藩社寺建築図		卷子	18.6-73
辰巳旧園新造客殿図	佐々木泉玄筆	額装 (彩色)	24.2-6
尾山神社神門原図		額装	090-1117
愛本橋絵図 完成図 (四十分一絵図)		一枚 53 × 185	18.6-72 ②
宮大工儀式道具図		統紙 (彩色) 37.5 × 153	090-1160 ④

掲載史料と展示史料は一致しないことがあります。





文政三年
愛本橋四谷合一繪圖
豊岡二宮宗重

近世史料館開館20周年記念企画展
加賀藩の建築

会 期 令和元年7月9日(火)～令和元年9月8日(日)
編集・発行 金沢市立玉川図書館近世史料館
印 刷 田中昭文堂印刷株式会社